実務経験のある教員等による授業科目一覧【整体セラピスト学科】

授業科目	単位数	実務経験	のある科目担当教員の氏名
整体セラピスト学1	2	蓑田のり子	
整体療法学1	2	長谷川徹	蓑田のり子
整体療法学2	2	長谷川徹	白井俊光
スポーツ実践指導法1	2	岸田兼一	
スポーツ実践指導法2	2	岸田兼一	
ボディケア理論1	2	西津 瞳	蓑田のり子
ボディケア理論2	2	西津 瞳	蓑田のり子
テーピング実習1	1	眞田能彰	
テーピング実習2	1	眞田能彰	
ボディケア実習1	1	岸田兼一	
ボディケア実習2	1	岸田兼一	
ボディケア実習3	1	岸田兼一	
ボディケア実習4	1	西津 瞳	蓑田のり子
ボディケア実習5	1	長谷川徹	蓑田のり子
ボディケア実習 6	1	長谷川徹	蓑田のり子
ボディケア実習7	1	長谷川徹	蓑田のり子
合 計	23		

**************************************	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		九州[医療スポ	ポーツ専	門学校	
科目区分)				令和	令和 2年度		度 整体セラピスト学科		
授業科目名			解音	学1		担当	者名	白ź	井 俊光	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	■次	3全	F次
単位数	2				拉娄吐即粉	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中 世数					授業時間数	32					
授業概要	体表解剖学を学び、皮膚と筋膜構造、体の各部位の骨と骨指標の触診、靭帯や滑液包をはじめとする主要な関節構造を触診し確認できるようになる										
成績評価	出席状況	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験	の有無	無								

	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	ボディナビゲーション 〜触って分かる身体解剖〜	Andrew Biel	医道の日本社
Ī	参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	上肢帯・肩関節の筋:脊柱ないし胸郭と上肢帯を結ぶ筋肉、体幹と上腕を結ぶ筋肉、肩関節周囲の筋肉をイラストと筋肉名を書き出して理解する
2	上腕・前腕・手の筋:上腕二頭筋、円回内筋、長母指伸筋等のイラストと筋肉名を書き出して理解する
3	体幹の筋:体幹の規律に関する体幹の筋は大きく分けると背部筋群と腹部筋群になる、背部筋群と腹部筋群の イラストと筋肉名を書き出し理解する
4	下肢帯・大腿の筋:骨盤を固定する骨盤筋、内転筋、伸筋、屈筋に分けられる大腿の筋肉のイラストと筋肉名 を書き出して理解する
5	下腿・足の筋肉:下腿の屈筋と、足関節および足趾を動かす伸筋に分かれる下腿の筋、深さが第1層〜4層まである足の固有筋のイラストと筋肉名を書き出して理解する
6	[肩部と上腕部]: 肩部と上腕部の筋肉、補助筋、三角筋~僧帽筋 (P61~70) 筋肉・筋群および周囲構造についての理解を深める
7	[肩部と上腕部]:広背筋・大円筋・肩回旋筋群・肩回旋筋群の腱(P71~81) 肩部周囲の正しい触診と、運動による筋の収縮と骨の動きを学ぶ
8	[肩部と上腕部]:大・小菱形筋・肩甲挙筋・前鋸筋・大胸筋 (P82~91) 肩甲骨の内側縁と胸椎棘突起間にある筋肉組織の異なる層を探索と大胸筋の探索について学ぶ
9	[肩部と上腕部]:小胸筋・鎖骨下筋・上腕二頭筋・上腕三頭筋・烏口腕筋、その他の構成体(P92~106)小胸筋が呼吸に関係すること、表層と深層の探索のための体位を学ぶ
10	理解度確認試験:身体探索・肩部と上腕部についての理解度を確認する
11	[前腕部と手部]:体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・前腕部と手部の骨・骨指標(P108~126)他動運動による 皮膚や筋膜の伸びと、指標となる骨を正しく触診することを学ぶ
12	[前腕部と手部]:補助筋、上腕筋・腕橈骨筋・前腕から指の屈筋群と伸筋群・円回内筋・回外筋(P127~ 148)主に手関節や指の運動をつかさどる前腕の筋肉について学ぶ
13	[前腕部と手部]:母指と手の筋肉・母指の長筋・母指の短筋・小指対立筋(P149~159)手の掌側と背側の筋肉を浅層・中間層・深層に分けて学ぶ
14	[前腕部と手部]:その他の構成体(P160~166)靭帯・神経・滑液包・手関節の屈筋支帯と伸筋支帯・手掌腱膜と、触診する際のもう一方の手の位置についても学ぶ
15	理解度確認試験・解答解説
16	期末試験

**************************************	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門					
科目区分)				令和	令和 2年度		2年度 整体セラピスト学科		
授業科目名			解剖	学2		担当	i者名	白芽	井 俊光	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	■次	3全	F次
単位数	2				拉娄吐即粉	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中 世数					授業時間数	32					
授業概要	体表解剖学を学び、皮膚と筋膜構造、体の各部位の骨と骨指標の触診、靭帯や滑液包をはじめとする主要な関節構造を触診し確認できるようになる										
成績評価	出席状況	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験	の有無:	無					•			

	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	ボディナビゲーション 〜触って分かる身体解剖〜	Andrew Biel	医道の日本社
ĺ	参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	[脊柱と胸郭]:体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・脊椎と胸郭の骨・骨指標(P168~173)組織の弾力性や厚さ の違いを探索する、脊柱と胸郭の役割と骨の形状の違いを学ぶ
2	[脊柱と胸郭]:骨指標トレイル1~3(P174~181) 指標となる骨の正確な触診と骨の形状、体型により道標として活用することも学ぶ
3	[脊柱と胸郭]:骨指標トレイル4~6、脊柱と胸郭の筋肉 (P182~190) 胸腰椎の横突起・肋骨・肋軟骨の触診、脊柱起立筋・横突棘筋・板状筋・後頭下筋群について学ぶ
4	[脊柱と胸郭]:後頚部の筋肉層、頚部と胸郭の横断面、補助筋・脊柱起立筋 (P191~199) 脊柱筋の浅層・中間層・深層筋、横断面部による筋や内臓の位置を学ぶ
5	[脊柱と胸郭]:横突棘筋・頭板状筋・頸板状筋・後頭下筋群・腰方形筋・腹部の筋肉群 (P200~212) 脊柱の深層の筋肉の触知と作用、腹部の筋肉と呼吸との関係を学ぶ
6	[脊柱と胸郭]:横隔膜・肋間筋・横突間筋・棘間筋・その他の構造体(P213~223)横隔膜が独特な形状と機能であること、靭帯・腹大動脈・関節・椎間板について学ぶ
7	理解度確認試験:脊柱と胸郭についての理解度を確認する
8	[頭部・頚部・顔面部]:体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・骨と骨指標トレイル(P226~230)頭皮の触診、頭蓋骨の繊維性の連結を学び指標となる骨を触診する
9	[頭部・頚部・顔面部]:骨指標トレイル1~3 (P231~239) 後頭骨の筋付着部について学び、側頭骨・下顎骨・甲状軟骨・舌骨の形状を学び触診する
10	[頭部・頚部・顔面部]:頭部・頚部・顔面部の筋肉・補助筋・胸鎖乳突筋 (P240~245) 頭部と顔面部の動き に関わる筋肉について学び触診する
11	[頭部・頚部・顔面部]:斜角筋・咬筋・側頭筋・舌骨上筋群・顎二腹筋 (P246~254) 斜角筋の役割と腕神経叢、舌・下顎の運動にの関わる筋について学び触診する
12	[頭部・頚部・顔面部]:舌骨下筋群・広頚筋・後頭前頭筋・内側翼突筋・外側翼突筋・頚長筋 (P255~260) 舌・下顎・の運動、表情に関わる筋について学び触診する
13	[頭部・頚部・顔面部]:顔の表情筋〜頭蓋の筋肉 (P261〜269) 表情に関わる筋について学び触診する
14	[頭部・頚部・顔面部]: その他の構造体 (P270~274) 触診可能な動脈・腺・神経の触診法を学ぶ
15	理解度確認試験・解答解説
16	期末試験

科目区分		分野)	専門基	礎分野	専門分野		0.仁 由		医療スポ	ピーツ専	門学校
						市和	2年度	全体でプ	ピスト学科		
授業科目名			生理学1			担当	i者名	蓑	田の	り子	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		F次	3年	F次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
平位奴	۷				汉本时间级	32					
授業概要	する。ま	た、関連	重する病気	気の原因	織・消化器系・呼・症状などについ きを確認する。			そのしく を	みとはたり	らきを学	び理解
成績評価	原則とし	「則として、出席状況・授業態度・復習テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する 「関として、出席状況・授業態度・復習テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験	の有無:	無								

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社
参考図書			

回数	授業計画
1	細胞と遺伝子のしくみ:細胞と細胞の構造、DNAと遺伝子、染色体の構造、組織(上皮・筋・結合・神経) 細胞 遺伝子の病気:ダウン症・エドワーズ症候群筋ジストロフィー
2	復習小テスト①、消化器系:消化吸収、消化管の基本構造、口腔の構造、歯の組織、咽頭の構造とはたらき
3	復習小テスト②、消化器系:食道の生理的狭窄部、食道の蠕動運動、胃・十二指腸・空腸・回腸の構造とはた らき
4	復習小テスト③ 消化器系:大腸・直腸・肛門の構造とはたらき、肝臓のしくみ、胆嚢と胆路
5	復習小テスト④、消化器系:消化器系の主な病気(食道癌・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃癌・大腸癌・肝癌・肝硬変)
6	単元テスト I (消化器系):復習小テストより出題し理解度を確認する呼吸器系:呼吸のしくみ、肺とガス交換のしくみ、鼻腔構造とはたらき
7	復習小テスト⑤ 呼吸器系:咽頭・喉頭のはたらき、気管の役目、胸腔と胸膜腔・肺・横隔膜の構造
8	復習小テスト⑥、呼吸器系:呼吸器系の主な病気(副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎・気管支喘息・慢性閉塞性肺 疾患・肺癌・自然気胸)
9	単元テストⅡ (呼吸器系) :復習小テストより出題し理解度を確認する。 循環器系:循環器系のしくみ、血液の2つの循環ルート、動脈・静脈・血管の構造と特徴
10	復習小テスト⑦、循環器系:脾臓の働き (P198) 、血液成分と血液のはたらき、免疫機能のしくみ、心臓の構造、拍動のしくみと心周期
11	復習小テスト® 循環器系:冠状動脈・静脈の特徴、体幹・頭部・頚部・上肢・下肢の動脈
12	復習小テスト⑨ 循環器系:体幹・頭部・頚部・上肢・下肢の静脈
13	復習小テスト⑩、循環器系の主な病気:虚血性心疾患・心筋症・心不全・動脈瘤・不整脈・膠原病・血友病・ 白血病の原因と症状について学ぶ
14	復習小テスト⑪、循環器系の主な病気:悪性リンパ腫・膠原病・血友病・白血病・貧血の原因と症状について 学ぶ
15	単元テストⅢ(循環器系):復習小テストより出題し理解度を確認する 総復習
16	期末試験

	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
科目区分)				令和	令和 2年度		整体セラピスト学科		
授業科目名			生理	里学2		担当	i者名	蓑	田の	り子	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3年	下次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中世数					1文米吋间数		32				
授業概要	因・症状	はなどにつ	ついて学び	び理解す	脳のしくみとはた る。 度を確認する。	らきを学	≌び理解す	ける。ま#	之、関連	する病気	の原
成績評価	原則とし価する	原則として、出席状況・授業態度・復習テスト・単元テスト・定期試験および追・再試験の結果で評 西する									
その他	実務経験	の有無	: 無								

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	生殖器・泌尿器系:腎臓の構造とはたらき、膀胱の構造、男性生殖器のしくみ
2	復習小テスト① 生殖器・泌尿器系:女性生殖器と受精のしくみ、胎児と胎盤の血液循環
3	復習小テスト② 生殖器・泌尿器系:全身の内分泌器官、膵臓の構造とはたらき、乳房の構造としくみ
4	復習小テスト③、生殖器・泌尿器系の主な病気:腎炎・尿路結石・前立腺肥大・前立腺癌・子宮癌・乳癌・甲 状腺機能亢進症・糖尿病の原因と症状について学ぶ
5	単元テストI (生殖器・泌尿器系):復習小テストより出題し理解度を確認する 感覚器系:皮膚の構造・毛と爪の構造
6	復習小テスト④ 感覚器系:眼球のしくみ・モノが見えるしくみ
7	復習小テスト⑤ 感覚器系:耳の構造・音が聞こえるしくみ・平衡感覚のしくみ
8	復習小テスト⑥ 感覚器系:嗅覚刺激の伝わり方・舌のしくみとはたらき
9	復習小テスト⑦、感覚器系の主な病気:皮膚癌・アトピー性皮膚癌・舌癌・白内障・緑内障・網膜剥離・メニ エール病の原因と症状について学ぶ
10	単元テストⅡ(感覚器系):復習小テストより出題し理解度を確認する 脳のはたらき:脳の構造とはたらき・大脳の構造・大脳の主な4つの葉
11	復習小テスト® 脳のはたらき:大脳辺縁系のしくみ・大脳基底核の構造・海馬と扁桃体の構造
12	復習小テスト⑨ 脳のはたらき:間脳の構造とはたらき・小脳の構造とはたらき・脳幹の構造
13	復習小テスト⑩、脳のはたらき:脊髄の構造とはたらき・神経の構造・知覚神経の伝導路・運動神経の伝導路・自律神経のしくみ
14	復習小テスト⑪、脳の主な病気:脳梗塞・クモ膜下出血・脳腫瘍・アルツハイマー型認知症の原因と症状につ いて学ぶ
15	単元テストⅢ(脳のはたらき):復習小テストより出題し理解度を確認する 総復習
16	期末試験

51 D D A	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		九州医療スポーツ					
科目区分			0			令和	2年度	整体セラピスト学科				
授業科目名		一般臨床医学1			<u>5</u> 1	担当	i者名	西	津 瞳、	蓑田	のり子	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3全	₹次	
出人米	2				拉米吐胆粉	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数					授業時間数	32						
授業概要	眼精疲労マッサージ・ヘッドマッサージ・ハンドマッサージの理論・手技の修得を目的とする。 身体のあらゆる部位が反射投影され繋がっていることを学ぶ。また、施術にあたり心構えや接客対応 などを実践としてサロンシュミレーションで学ぶ。											
成績評価	原則とし	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	実務経験	の有無	無									

	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクールオリジナル	
ĺ	参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	BABジャパン

回数	授業計画
1	課題:足裏反射区の図をノートに記載し、反射投影される臓器の位置関係について学ぶ
2	課題:足裏反射区の図をノートに記載し、反射投影される臓器の位置関係について学ぶ
3	課題:反射区・働き・効果の資料より、各臓器に関係する病名・症状を把握する
4	課題確認テスト 眼精疲労&ヘッドケア <実技>誘導の仕方について学ぶ
5	眼精疲労&ヘッドケア <実技>肩・首・顔のツボの説明と押し方、注意事項について学ぶ
6	眼精疲労&ヘッドケア 〈実技〉復習 時間計測25分
7	眼精疲労&ヘッドケア 〈実技〉復習 時間計測20分
8	ハンドセラピー <実技>心構え・身だしなみ・タオルワーク・誘導・オイルの取り扱い方について学ぶ
9	ハンドセラピー 〈実技〉右手:手・指、左手:手首から肘、手・指、反復練習
10	サロンシュミレーションに備えて、接客対応の練習
11	サロンシュミレーション① 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
12	サロンシュミレーションのフィードバック、改善点をふまえた練習
13	サロンシュミレーション② 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
14	サロンシュミレーション③ 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
15	サロンシュミレーションのフィードバック、改善点をふまえた練習
16	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	令和	九州医療スポーツ専門学 和 2年度 整体セラピスト学科				
授業科目名			一般臨床医学2			担当	者名	西	津 瞳、	蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	⋷次	3 🕏	
単位数	2				授業時間数	<u>前期</u> 32	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	眼精疲労マッサージ・ヘッドマッサージ・ハンドマッサージの理論・手技の修得を目的とする。 身体のあらゆる部位が反射投影され繋がっていることを学ぶ。また、施術にあたり心構えや接客対応 などを実践としてサロンシュミレーションで学ぶ。										
成績評価	原則とし	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験	の有無	無								

	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクールオリジナル	
ĺ	参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	BABジャパン

回数	授業計画
1	腸セラピー <実技>タオルワーク・誘導・腹部の触診法・圧迫法
2	腸セラピー <実技>腹部の圧迫・へそ周囲の圧迫・腰部施術・時間計測20分
3	サロンシュミレーション① 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
4	サロンシュミレーションのフィードバック
5	猫背矯正 <実技>タオルワーク、誘導、腹臥位:背部・肩の施術
6	猫背矯正 <実技>仰臥位:肩周囲・頸・前胸部の施術
7	猫背矯正 <実技>腹臥位・側臥位・仰臥位 時間計測30分
8	猫背矯正 <実技>腹臥位・側臥位・仰臥位 時間計測30分
9	サロンシュミレーション② 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
10	サロンシュミレーションのフィードバック
11	サロンシュミレーション③ 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
12	サロンシュミレーション④ 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
13	サロンシュミレーションのフィードバック
14	眼精疲労&ヘッドケア、ハンドセラピーの復習
15	腸セラピー、猫背矯正の復習
16	期末試験

*** T = **	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野		九州医療スポーツ専門学					
科目区分			0			令和 2年度		整体セラピスト学科				
授業科目名	保健体育理論1 担当者名 白井 伯					井俊	光					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	■次	3年	F次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
- 平位数					1又木吋间效	32						
授業概要	とする。 適切な指 徴につし	貨導を行え いて学んで	えること? ざいく。	が、今後の	を楽しみ、生活に の健康の維持増進 (ベーシック)の	に必要不	「可欠でも	あるため、				
成績評価	小テスト、授業態度、出席(減点法)などを総合的に評価する											
その他	実務経験	の有無:	無									

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書		監修:水嶋章陽 中尾繁樹 油谷信 隆	学校法人国際学
参考図書			

回数	授業計画
1	1) 合同授業(生涯スポーツトレーナーとは) 【水嶋理事長】, (スポーツトレーナー)【出水先生】, (目標達成)【ナカソネ先生】
2	1) ガイダンス, 2) 生涯スポーツトレーナーについて, 3) 0-100プロジェクトについて
3	1) e-learning「スポーツ」「運動」の必要性(7分),ファンクショナルトレーニングとは(14分),正しい姿勢とプランク(24分)
4	1) e-learning基礎動作の重要性(11分),上肢の動きについて(13分),下肢の動きについて(15分)
5	1) e-learning全身を連動させた回旋運動について(16分), プログラミングの重要性について(12分)
6	1)e-learning運動指導におけるコーチングについて(31分), 2) スポーツコーチングについて
7	1) e-learning骨の役割(4分), 骨の構造(9分), 筋の分類(3分), 骨格筋について(6分), 筋収縮のメカニズム①② (8分)(6分)
8	1) e-learning,人体の区分と名称(6分),身体の方向をあらわす用語(16分),代表的な関節運動(15分),脊柱(14分)
9	1) e-learning子ども、高齢者運動指導の基礎知識(22分),高齢者の運動指導(23分),児童期の運動指導(17分)
10	1)e-learning医療行為と医療類似行為(11分),禁止事項(11分)
11	合同授業(Tボール) 1/4
12	合同授業(Tボール) 2/4
13	合同授業(Tボール) 3/4
14	合同授業(Tボール) 4/4
15	まとめ
16	生涯スポーツトレーナーベーシック試験

科目区分	基礎分野 専門基礎分野 専門分野							九州[医療スポ	ポーツ専	門学校
科日区方			0			令和 2年度		整体セラピスト学科			
授業科目名	保健体育理論2				1 2				3井 俊光		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年	F次	3年	F次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
平位奴					1文米吋间数		32				
授業概要	とする。 ら高齢者	適切な排 の特徴に	指導を行え こついて	えること: 学んでい	を楽しみ、生活に が、これからの健 く。本授業は主に ンス)の資格取得	康の維持 実技指導	増進に必 を中心に	必要不可允			
成績評価	小テスト	トテスト、授業態度を総合的に評価する									
その他	実務経験	の有無:	無								

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書		監修:水嶋章陽 中尾繁樹 油谷信 隆	学校法人国際学
	背骨コンディショニング 世界ーわかりやすいパー ソナルストレッチ 背骨コンディショニングパーソ		

回数			授業計	画
1	ガイダンス(受請	拝上の注意等)、生涯スポーツ	トレーナーア	ドバンスについて
2	合同授業(背骨	ト コンディショニング)	【日野先生】	1/2
3	合同授業(背骨	ト コンディショニング)	【日野先生】	2/2
4	合同授業(超音	f波)	【清水先生】	1/2
5	合同授業(超音	f波)	【清水先生】	2/2
6	合同授業(パー	-ソナルストレッチ)	【牧谷先生】	1/2
7	合同授業(パー	-ソナルストレッチ)	【牧谷先生】	2/2
8	合同授業(発育	「発達と不器用さ)	【中尾先生】	1/2
9	合同授業(発育	「発達と不器用さ)	【中尾先生】	2/2
10	合同授業(高齢	命者と子どもの運動指導)	【油谷先生】	1/2
11	合同授業(高齢	命者と子どもの運動指導)	【油谷先生】	2/2
12	合同授業(ダン	, ス)	【藤本先生】	1/2
13	合同授業(ダン	<i>,</i> ,,,	【藤本先生】	2/2
14	合同授業(ファ	·ンクショナルトレーニング)	【岩澤先生】	1/2
15	合同授業(ファ	·ンクショナルトレーニング)	【岩澤先生】	2/2
16	まとめ・終講記			

科目区分	基礎分	予野	専門基	礎分野)	専門分野	九州医療スポーツ専門学 令和 2年度 整体セラピスト学科				門学校		
授業科目名	整体セラピスト学1					担当者名			田の	田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	次	3年	E次	
単位数	2				授業時間数	<u>前期</u> 32	後期	前期	後期	前期	後期	
授業概要									ラピス			
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	実務経験の	の有無:	有(鍼灸	灸・整骨	• 整体院勤務)							

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	整体セラピストになる[3級]	山本珠美	BABジャパン
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	整体セラピスト学①:クライアントに安心感・思いやり・親切さを感じていただくためには、言葉遣い・態度・身だしなみが大切であることをポイントを押さえながら学ぶ
2	整体セラピスト学②:コミュニケーションの三大要素である相手・自分・用件を理解し、話し上手聞き上手になるためのポイントを学ぶ
3	整体セラピスト学②:コミュニケーションの三大要素である相手・自分・用件を理解し、話し上手聞き上手になるためのポイントを学ぶ
4	整体セラピスト学④:施術の基礎・カルテの記載と問診・基礎的問診 <実習>問診 、社会人基礎力を身に付ける:チームビルディング・コミュニケーション
5	人体の構成:骨の基礎 (構成・役割・種類・構造・成長・変化・脊柱) 骨模型を用いて視覚的にも確認しながら学ぶ
6	人体の構成:筋肉の基礎(種類・骨格筋の働きと特徴・種類・構成・運動・筋肉の栄養) 補助教材を使用し確認しながら学ぶ
7	人体の構成:筋肉の基礎(硬結の発生と身体への影響・起始と停止・心筋と平滑筋・筋肉を強くする・老化と 対策)
8	人体の構成:運動の基礎(屈曲と伸展・内転と外転・回内と回外・内旋と外旋・内反と外反)、<実技>実際に動きながら体得する
9	人体の構成:運動の基礎(筋の協調運動・筋運動の補助・筋の神経)、運動と神経(身体を構成する神経)、<実 技>復習
10	中間確認テストにて理解度を確認する(筆記のみ) 人体の構成:反射療法・栄養学(バランスのとれた食事・栄養素の過不足の影響)
11	人体の構成:施術の基礎(施術の影響・原因別アプローチ)、接遇(インフォームドコンセント・窓口対応・施 術対応・電話応答・クレームの電話対応のポイント)
12	施術実技:腰部施術での説明・自宅における腰痛アドバイス <実技>腰部基本施術
13	施術実技:肩部施術での説明・自宅における肩こりアドバイス <実技>肩部基本施術
14	施術実技:膝部施術での説明・自宅における膝痛アドバイス <実技>膝部基本施術
15	復習:接遇・問診、 <実技>腰部・肩部・膝部基本施術 模擬試験:理解度を確認する
16	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			九州[医療スポ	ポーツ専	門学校
14067			0			令和	2年度	整体セラピスト学科			
授業科目名		整体	本セラピスト学2			担当	者名	白	井 俊光	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	Ĕ次	3左	F次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中世数					技 条时间数	32					
授業概要					造、体の各部位の るようになる	骨と骨指	信標の触 記	多、靭帯や	⇔滑液包?	をはじめ	とする
成績評価	出席状汤	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経騎	の有無:	無								

	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	ボディナビゲーション 〜触って分かる身体解剖〜	Andrew Biel	医道の日本社
ĺ	参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	[骨盤と大腿部]:皮膚と筋膜の触診・骨盤部と大腿部の骨と骨指標~臀部の骨指標(P276~282)部位による 皮膚・筋膜・筋肉の厚さを触診、骨盤の性差・骨指標を学ぶ
2	[骨盤と大腿部]:大腿骨・骨指標トレイル1~3 (P283~291) 大腿骨・骨盤の骨の名称・骨指標を学び触診する
3	[骨盤と大腿部]:骨指標トレイル4・5、骨盤部と大腿部の筋肉、会陰と骨盤底(P292~301)臀部・恥骨・坐骨結節の骨の名称・骨指標・筋肉を学び触診する
4	[骨盤と大腿部]:補助筋・大腿四頭筋・ハムストリングス (P302~314) 大腿部の筋肉と作用を学び触診する
5	[骨盤と大腿部]:殿筋群・内転筋群・大腿筋膜張筋・腸脛靭帯 (P315~325) 殿部・大腿部の筋とその作用・触診方法学ぶ
6	[骨盤と大腿部]:縫工筋・膝後面の腱群・臀部外旋筋群・腸腰筋 (P326~335) 膝内側・後面の筋と腱の走行、臀部外旋筋、腸腰筋の作用と触診方法を学ぶ
7	[骨盤と大腿部]: その他の構造体 (P336~342) 大腿三角、動脈・鼠径リンパ節・靭帯・坐骨神経を学ぶ
8	理解度確認試験:骨盤と大腿部の理解度を確認する 解答解説
9	[下腿部と足部]:体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・膝と下腿部の骨・膝の骨指標トレイル(P344~353)部位による皮膚・筋膜・筋肉の厚さ硬さを触診、骨と骨指標を学ぶ
10	[下腿部と足部]:足関節と足部の骨と骨指標・骨指標トレイル3 (P354~365) 足関節と足部の骨の名称・骨指標を学び触診する
11	[下腿部と足部]:下腿部と足部の筋肉・補助筋・腓腹筋〜長母指屈筋 (P366〜383) 下腿部の筋肉と作用を学び触診する
12	[下腿部と足部]:足部の筋肉~虫様筋 (P384~391) 足部の筋肉と作用を学び触診する
13	[下腿部と足部]:膝関節と足部のその他の構造体 (P392~397) 膝関節の構造・半月板・靭帯・動脈・神経を学び触診する
14	[下腿部と足部]:足関節と足部のその他の構造体 (P398~405)
15	理解度確認試験:下腿部と足部の理解度を確認する 解答解説
16	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	令和	2年度	九州医療スポーツ専 年度 整体セラピスト学科			
授業科目名	整体療法学1					担当	i者名	長谷川 徹、蓑田 のり子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	⋷次	3左	F次
単位数	2				授業時間数	前期 32	前期 後期		後期	前期	後期
授業概要	サロンシ	ミュレー	ーションを	を通して	5得を目的とする 、集客や店舗運営 むけて基本の手技	さの在り方を体験する					
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	実務経験	の有無	:有(鍼釒	灸・整骨	• 整体院勤務)						

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	ナショナル徒手療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	上半身だけの施術:時間計測10分 イベントなどに即した対応としての実技と時間配分を学ぶ
2	下半身だけの施術:時間計測10分① イベントなどに即した対応としての実技と時間配分を学ぶ
3	下半身だけの施術:時間計測10分② イベントなどに即した対応としての実技と時間配分を学ぶ
4	実践:サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営のノウハウを学ぶ
5	APTの目的と用語の理解① 解剖学的略語や解剖学を学ぶ
6	APTの目的と用語の理解② 検査法の理論と手順を学ぶ
7	環椎の検査法 実技で覚えていく
8	環椎のノッカー調整法 ノッカーの正しい握り方や強さを含めて実技で覚えていく
9	環椎の検査法からノッカー調整法まで 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
10	骨盤の検査法 実技で覚えていく
11	骨盤の調整法 実技で覚えていく
12	骨盤の検査法から調整法まで 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
13	腎臓マッサージ 理論と東洋医学の考え方を学ぶと同時に実技で覚えていく
14	環椎検査から骨盤調整まで① 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
15	環椎検査から骨盤調整まで② 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
16	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	令和	2年度		九州医療スポーツ専門等 整体セラピスト学科			
授業科目名		-	整体療	法学	2	担当者名 長谷川			学川 徹	徹、蓑田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	Ĕ次	3左	F次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期 32	前期	後期	前期	後期	
授業概要	サロンシ	ミュレー	ーションで	を通して		営の在り方を体験する ⊂めに、臨床的な手技を身に付ける						
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	実務経験	の有無	有(鍼釒	ひ・整骨	• 整体院勤務)							

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	ナショナル徒手療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	実践:サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
2	環椎検査から骨盤調整まで時間計測15分① 臨床的には時間の制約があることから、時間内に施術できるように覚えていく
3	環椎検査から骨盤調整まで時間計測15分② 臨床的には時間の制約があることから、時間内に施術できるように覚えていく
4	環椎検査から骨盤調整まで時間計測15分③ 臨床的には時間の制約があることから、時間内に施術できるように覚えていく
5	大腰筋調整を学ぶ① ソーステストから調整する大腰筋を知る
6	大腰筋調整を学ぶ② ソーステストから調整する大腰筋を知る
7	大腰筋調整を学ぶ③ トーマステストから調整する大腰筋を知る
8	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
9	大腰筋調整を学ぶ② トーマステストから調整する腸骨筋を知る
10	1年間の集大成① これまで学んできた手技を駆使して自分流の15分施術を創る
11	1年間の集大成② これまで学んできた手技を駆使して自分流の15分施術を創る
12	1年間の集大成③ これまで学んできた手技を駆使して自分流の15分施術を創る
13	実践:サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
14	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
15	実践:サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
16	期末試験(実技)

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			九州	医療スポ	ピーツ専	門学校
科日区万)		令和	2年度	整体セラピスト学科			
授業科目名		スポー	ーツ実	践指	導法1	担当	者名	岸B	田 兼一	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3左	F次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中 世数					[授未时间数	32					
授業概要		らける不同 コ識を習得		或とカラ	ダの知識として骨	格筋とそ	の役割る	を学び、ホ	兼々な歪∂	みに対す	る運動
成績評価	原則とし	、て、出席	ま状況・ 持	受業態度	・小テスト・定期	試験およ	び追・拝	再試験の絹	桔果で評値	西する	
その他	実務経験	の有無:	有(整体	本院勤務)						

使用	教材	書籍名	著者名	出版社名
教科	書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋章陽 中尾繁樹 油谷信隆	学校法人国際学
参考	図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	指導における不可欠な領域とカラダの知識
2	姿勢と筋肉の関係 I
3	足と姿勢の関係
4	抗重力筋を意識した姿勢について
5	大臀筋のはたらきと筋力の関係
6	菱形筋のはたらきと姿勢の関係
7	姿勢をつくる筋肉について
8	アライメントから0脚などの歪みを考え改善を図る
9	姿勢改善のための部位の特定とストレッチ動作
10	トレーニングの活用とトレーニングの実践のポイント
11	骨格を安定させる筋肉群と動作
12	骨盤を安定させる筋肉一大臀筋のトレーニング
13	腰痛の関連性の高い筋肉の特定と動作について
14	筋肉の役割と向上させるポイントについて
15	筋肉の動作とアライメントの関係について
16	期末試験

전 R E /	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	•		九州[医療スポ	ポーツ専	門学校
科目区分)		令和	2年度	整体セラピスト学科			
授業科目名		スポー	ーツ実	践指	導法2	担当	者名	岸田	田 兼一	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3年	F次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中 世数					投 未时间数	32					
授業概要		「調と身(ニングの打			を学ぶ。また、歪	みの原因	となる旨	骨格筋の特	寺徴・関節	節可動域	・筋力
成績評価	原則とし	,て、出席	ま状況・ 持	受業態度	・小テスト・定期	試験およ	び追・耳	再試験の約	桔果で評値	西する	
その他	実務経験	の有無:	有(整体	本院勤務)						

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋章陽 中尾繁樹 油谷信隆	学校法人国際学
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

1 筋肉の動作とトレーニング強度について 2 腰部神経の伝達と歪みや不調の関連性について 3 骨盤の傾きと筋肉の役割と動作の確認 4 不良姿勢を改善するための指導・アプローチ 5 痛みの原因となる筋肉の特定と運動指導について 6 猫背・反り腰の筋力の特徴と運動指導について 7 肩の可動における筋力トレーニング指導法 8 不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善 9 姿勢をキープするための伝達(神経)と筋力トレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認 16 期末試験	回数	授業計画
3 骨盤の傾きと筋肉の役割と動作の確認 4 不良姿勢を改善するための指導・アプローチ 5 痛みの原因となる筋肉の特定と運動指導について 6 猫背・反り腰の筋力の特徴と運動指導について 7 肩の可動における筋力トレーニング指導法 8 不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善 9 姿勢をキープするための伝達 (神経) と筋力トレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋力トレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	1	筋肉の動作とトレーニング強度について
4 不良姿勢を改善するための指導・アプローチ 5 痛みの原因となる筋肉の特定と運動指導について 6 猫背・反り腰の筋力の特徴と運動指導について 7 肩の可動における筋力トレーニング指導法 8 不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善 9 姿勢をキープするための伝達 (神経) と筋力トレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋力トレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	2	腰部神経の伝達と歪みや不調の関連性について
5 痛みの原因となる筋肉の特定と運動指導について 6 猫背・反り腰の筋力の特徴と運動指導について 7 肩の可動における筋力トレーニング指導法 8 不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善 9 姿勢をキープするための伝達(神経)と筋カトレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋力トレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	3	骨盤の傾きと筋肉の役割と動作の確認
6 猫背・反り腰の筋力の特徴と運動指導について 7 肩の可動における筋カトレーニング指導法 8 不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善 9 姿勢をキープするための伝達(神経)と筋カトレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	4	不良姿勢を改善するための指導・アプローチ
7 肩の可動における筋カトレーニング指導法 8 不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善 9 姿勢をキープするための伝達(神経)と筋カトレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	5	痛みの原因となる筋肉の特定と運動指導について
8 不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善 9 姿勢をキープするための伝達(神経)と筋カトレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	6	猫背・反り腰の筋力の特徴と運動指導について
9 姿勢をキープするための伝達 (神経) と筋カトレーニング 10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	7	肩の可動における筋力トレーニング指導法
10 下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ 11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	8	不良姿勢に共通する下半身の運動能力の改善
11 運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術 12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	9	姿勢をキープするための伝達(神経)と筋カトレーニング
12 トレーニング実践にあたってのメニューと注意点 13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	10	下半身の骨格筋の動作と機能回復のアプローチ
13 関節の可動性と安定性を高める運動と指導 14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	11	運動の「効果」を考えながら指導する知識と技術
14 呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導 15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	12	トレーニング実践にあたってのメニューと注意点
15 体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認	13	関節の可動性と安定性を高める運動と指導
	14	呼吸・体幹に関与する筋カトレーニングと指導
16 期末試験	15	体幹トレーニングにおける動作とターゲット筋の確認
	16	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野)	専門分野	令和	2年度		医療スポ ピスト学科	ポーツ専	門学校
授業科目名		ボ・	ディク	ア理	·····································	担当	i者名	西	津 瞳、	蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3全	∓次
単位数	2				授業時間数	<u>前期</u> 32	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	身体のあ	らゆる部	ージ・ヘッドケア・ハンドセラピーの理論・手技の修得を目的とする。 部位が反射投影され繋がっていることを学ぶ。また、施術にあたり心構えや接客対応 てサロンシュミレーションで学ぶ。								
成績評価	原則とし	ノて、出原	ま状況・打	受業態度	・小テスト・定期	試験およ	び追・耳	耳試験の約	桔果で評値	西する	
その他	実務経験	の有無	: 有(鍼釒	灸・整骨	• 整体院勤務)						

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	BABジャパン

回数	授業計画
1	課題:足裏反射区の図をノートに記載し、反射投影される臓器の位置関係について学ぶ
2	課題:足裏反射区の図をノートに記載し、反射投影される臓器の位置関係について学ぶ
3	課題:反射区・働き・効果の資料より、各臓器に関係する病名・症状を把握する
4	課題確認テスト 眼精疲労&ヘッドケア <実技>心構え・身だしなみ・タオルワーク
5	眼精疲労&ヘッドケア <実技>肩・首・顔のツボの説明と押し方
6	眼精疲労&ヘッドケア <実技>頭皮マッサージにおけるツボの説明と押し方、注意事項について学ぶ
7	眼精疲労&ヘッドケア 〈実技〉復習 時間計測20分
8	ハンドセラピー <理論>効果・反射区について
9	ハンドセラピー<実技>右手:手首から肘
10	眼精疲労&ヘッドケア、ハンドセラピー復習 時間計測各20分
11	サロンシュミレーション① 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
12	サロンシュミレーションのフィードバック、改善点をふまえた練習
13	サロンシュミレーション② 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
14	サロンシュミレーション③ 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
15	サロンシュミレーションのフィードバック、改善点をふまえた練習
16	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野)	専門分野	令和	2年度		医療スオ ピスト学科	ポーツ専	門学校	
授業科目名		ボ・	ディク	ア理	論 2	担当	者名	西	西津 瞳、蓑田 のり			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	下次	2年	F次	34	手 次	
単位数	2				授業時間数	<u>前期</u> 32	後期	前期	後期	前期	後期	
授業概要	日頃の生	活習慣	こよって	おこる身	技の修得を目的と 体の歪みが引き起 ロンシュミレーシ	こす様々な症状を学ぶ。また、施術にあたり心構						
成績評価	原則とし	ノて、出原	ま状況・打	受業態度	・小テスト・定期	試験およ	び追・再	耳試験の網	結果で評値	西する		
その他	実務経験	の有無	有(鍼釒	灸・整骨	• 整体院勤務)							

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	BABジャパン

回数	授業計画
1	腸セラピー <理論>効果・消化器系の内臓の仕組み・便秘のメカニズム
2	腸セラピー <実技>腹部の圧迫・へそ周囲の圧迫
3	サロンシュミレーション① 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
4	サロンシュミレーションのフィードバック
5	猫背矯正 <理論>猫背になる原因・猫背の種類 <実技>セルフ猫背チェック法・筋トレ・ストレッチ改善法
6	猫背矯正 <実技>側臥位:肩周囲の施術
7	猫背矯正 <実技>腹臥位・側臥位・仰臥位
8	猫背矯正 <実技>腹臥位・側臥位・仰臥位 時間計測25分
9	サロンシュミレーション② 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
10	サロンシュミレーションのフィードバック
11	サロンシュミレーション③ 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
12	サロンシュミレーション④ 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
13	サロンシュミレーションのフィードバック
14	眼精疲労&ヘッドケア、ハンドセラピーの復習
15	腸セラピー、猫背矯正の復習
16	期末試験

利日应八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学					
科目区分 ————————————————————————————————————					0	令和	2年度	整体セラビ	ピスト学科		
授業科目名		テ-	ーピン	ノグ実 [:]	習1	担当	者名	眞田 能彰			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	Ĕ次	3年	F次
出人米				1	拉类吐胆粉	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				'	授業時間数	32					
授業概要		に比較的浅い場所へのアプローチから膜組織の乱れを調節し、筋膜を中心とした機能改善によ リンパ還流の調整、痛みの緩和、歪みの調整などを目的に行うキネシオテーピング療法の基礎を 骨する									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	実務経験	の有無:	: 有(カ・	イロプラ	クティック院勤務	;)					

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	キネシオテーピングトレーナー養成講座ワーク ブック	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーヒ゜ンク゛
参考図書	キネシオテーピング 実技テキスト	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーヒ゜ンク゛

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション キネシオテーピングの歴史・基礎:キネシオテーピング療法について
2	キネシオテーピングの基礎・基本 手首/肘の痛み/腱鞘炎:手首/肘X字/長母指伸筋キネシオテーピング
3	キネシオテーピング基礎 8部位貼布 三角筋/仙棘筋キネシオテーピング
4	キネシオテーピング基礎 膝・下腿貼布 大腿四頭筋/大腿二頭筋キネシオテーピング
5	キネシオテーピング基礎 下腿・足関節貼布 腓骨筋/腓腹筋キネシオテーピング
6	キネシオテーピング基礎 膝・下腿・足関節テーピング実技試験:大腿四頭筋/大腿二頭筋/腓骨筋/腓腹筋
7	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 上半身のスクリーニングテスト:リンダ—テスト2/頸椎伸展テスト/血管膨隆テスト/ライトテスト
8	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 リンダ—テスト2に対するテーピング:中僧帽筋/下僧帽筋/広背筋
9	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 頸椎伸展テストに対するテーピング:前・中・後斜角筋/頭・頸板状筋
10	キネシオテーピング部位別① スクリーニング実習 血管膨隆テスト・ライトテストに対するテーピング:大 菱形筋・棘上筋/棘下筋/上腕二頭筋/上腕三頭筋
11	キネシオテーピング部位別② スクリーニング実習 下半身のスクリーニングテスト: リンダーテスト2/腹圧 テスト/パトリックテスト/SLRテスト
12	キネシオテーピング部位別② スクリーニング実習 リンダーテスト2・SLRテストに対するテーピング:大腰筋/仙棘筋・外内側広筋/前脛骨筋/腓腹筋
13	キネシオテーピング部位別② スクリーニング実習 パトリックテストに対するテーピング:縫工筋/下肢内転筋群/大殿筋/大腿筋膜張筋
14	キネシオテーピング部位別③ スクリーニング実習 スクリーニングテストからテーピング貼布までの実技試 験
15	肩関節に対するテーピング:三角筋/大小円筋/烏口腕筋 手関節に対するテーピング:橈尺側手根屈伸筋、 肘関節に対するテーピング:上腕二頭筋/上腕三頭筋/回外筋
16	期末試験

	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学					
科目区分					0	令和	2年度	整体セラは	ピスト学科		
授業科目名		テ-	ーピン	·グ実	習2	担当	者名	眞	眞田 能彰		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	■次	3年	■次
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 单位数				'	技术时间数	32					
授業概要	効果が出る貼り方と理由(=見立て)を8つのスクリーニングテストで身体の状態を把握し、関節可動域計測、筋肉テストで把握し、適切な長さ・形のキネシオテープの貼り方を習得する。また、病態別の特殊テープではテープに一定の張力をかけて貼る特徴的な方法により、人体各部の皮膚や筋膜・腱などの軟部組織の捻じれや歪みを調整することを習得する。								病態別		
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	実務経験	の有無:	有(カイ	イロプラ	クティック院勤務	;)					

使从	用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教	科書	キネシオテーピング 実技テキスト	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーヒ゜ンク゛
参	考図書	キネシオテービング部位別筋肉別ワークブック, 特 殊テープワークブック	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーヒ゜ンク゛

回数	授 業 計 画
1	キネシオテーピング 部位別③ 実習 手指の関節に対するテーピング:浅指・深指屈筋/長母指屈筋/長母指 外転筋
2	キネシオテーピング 部位別④ 実習 頸椎に対するテーピング:肩甲挙筋/頸最長筋/頭最長筋
3	キネシオテーピング 部位別④ 実習 股関節に対するテーピング:腸骨筋/薄筋/下肢内転筋群
4	キネシオテーピング 部位別④ 実習 膝関節に対するテーピング:大腿四頭筋/膝窩筋、 足関節に対する テーピング:ヒラメ筋/腓骨筋/後脛骨筋
5	実技確認試験①
6	実技確認試験②
7	実技確認試験③
8	コンディショニング&コレクション特殊テープ① 機械的コレクション(I字型)/筋・筋膜保持コレクション /狭間コレクション
9	コンディショニング&コレクション特殊テープ② 靭帯のコレクション(腸脛靭帯)/腱のコレクション(アキレス腱)
10	コンディショニング&コレクション特殊テープ③ 機能的コレクション:頸椎靭帯(頚椎症)/肩鎖関節の傷害 (烏口鎖骨靱帯)
11	コンディショニング&コレクション特殊テープ④ 靭帯のコレクション:内側側副靭帯損傷(肘の内側・外側側副靭帯)、外側上顆炎(上腕三頭筋浅筋膜)
12	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑤ 上半身の傷害に対するテーピング:尺骨神経痛/手指のPIP 関節、 後横隔膜(喘息)
13	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑥ 下半身の障害に対するテーピング:仙椎(腰椎分離症・すべり症)、腰椎(腰椎椎間板ヘルニア)
14	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑦ 下半身の障害に対するテーピング:膝の外側側副靱帯(腸 脛靭帯炎)、 前十字靭帯/膝蓋靱帯(オスグットシュラッタ—)
15	期末筆記試験
16	期末実技試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	•		九州	医療スポ	ポーツ専	門学校	
14007					0	令和 2年度 整体セラ			体セラピスト学科			
授業科目名	ボディケア実習1					担当者名 岸田			田 兼一	兼一、蓑田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		次	3全	∓次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
十世奴				<u> </u>	汉本时间数	32						
授業概要	骨格と骨	·格筋の役	と割を知り	り、触診	・視診・動診にて	(体の歪みによる問題点を考察する。						
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	実務経験	の有無:	有(整体	本院勤務)							

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋章陽 中尾繁樹 油谷信隆	学校法人国際学
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	オリエンテーション(セラピストに求められるもの、ワーク)
2	体の歪みとバランス(アライメント) I
3	姿勢と筋肉(抗重力筋)
4	骨盤と脚の歪みの関係 I
5	骨盤と脚の歪みの関係Ⅱ(大臀筋)
6	猫背と肩の動きの関係I(肩甲骨)
7	姿勢を保つ骨格について
8	アライメントから歪みや問題点を考察する
9	姿勢の歪みと不快な症状との関係
10	筋肉の役割とトレーニングの基礎知識
11	骨格のランドマークと実際
12	骨格と骨の働きについて
13	骨格を整える筋肉と代表的な不調との関係
14	骨格と骨格筋から姿勢を整える
15	骨格と骨格筋の役割について基礎まとめ
16	期末試験

到日屋八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			九州[医療スポ	ピーツ専	門学校
科目区分 ————————————————————————————————————					0	令和 2年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	ボディケア実習2					担当	者名	岸田	田 兼一	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	₣次	2年	Ĕ次	3左	F 次
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
平位奴				ı	1文本时间数	32					
授業概要	身体のア	ライメン	ノトの確言	忍・調整	し、自己治癒力を	回復し不	定愁訴る	を改善する	るプログ [:]	ラムを学	స్
成績評価	原則とし	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験	の有無:	有(整体	本院勤務)						

使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋章陽 中尾繁樹 油谷信隆	学校法人国際学
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画									
1	肩関節の動作における関節と筋肉の役割									
2	定愁訴から骨格の歪みを診る評価方法									
3	姿勢を保つ骨盤の役割と関節の可動域について									
4	下半身のアライメントにおける筋肉と神経の関係									
5	猫背・肩こりにおける筋肉と神経の関係									
6	猫背・反り腰にみられる骨格の特徴について									
7	アライメントの確認と姿勢の歪みから見る脚の調整									
8	姿勢の歪みの特徴と可動域制限の確認									
9	神経の働きと骨格・骨格筋の関係について									
10	アライメントから症状や不具合を特定する方法									
11	腰痛の原因・肩こりの原因の特徴を抑えてアプローチする方法									
12	歪みの確認と骨格バランスお考察について									
13	アライメント(重心線)から判断する骨格バランスについて									
14	呼吸の仕組みから考える姿勢と改善のアプローチ									
15	アライメントと症状(内臓)との関係について									
16	期末試験									

	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			九州	医療スポ	ピーツ専	門学校
科目区分					0	令和	2年度	整体セラ	ピスト学科		
授業科目名		ボ・	ディク	ア実 [:]	習3	担当	者名	岸田	田 兼一	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	Ĕ次	3全	∓ 次
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中位数				ı	技术时间数		32				
授業概要	身体の歪	҈みからく	ζる様々≀	な不調の質	箇所の改善と、姿	勢改善の)ためのき	歩行・運動	動療法を [₫]	学ぶ	
成績評価	原則とし	、て、出席	ま状況・ 持	受業態度	・小テスト・定期	試験およ	び追・耳	∮試験の 約	吉果で評値	西する	
その他	実務経験	の有無:	有(整	本院勤務)						

ĺ	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋章陽 中尾繁樹 油谷信隆	学校法人国際学
ĺ	参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

1 姿勢における不調の箇所と改善に向けての考察 2 運動療法とトレーニングのやり方とポイント 3 不定愁訴と猫背姿勢の共通点と、背中・肩の歪みについて 4 抗重力筋群の活動(運動)向上と感覚の差異について 5 アライメント重心から歩行の問題と解決法を考える 6 猫背をつくる肩・首・背中の萎縮を改善する 7 不良姿勢を改善する(肩からのアプローチ) 8 不良姿勢を改善する(腰椎・骨盤へのアプローチ) 9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢(腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察 16 期末試験	回数	授業計画
3 不定愁訴と猫背姿勢の共通点と、背中・肩の歪みについて 4 抗重力筋群の活動(運動)向上と感覚の差異について 5 アライメント重心から歩行の問題と解決法を考える 6 猫背をつくる肩・首・背中の萎縮を改善する 7 不良姿勢を改善する(肩からのアプローチ) 8 不良姿勢を改善する(腰椎・骨盤へのアプローチ) 9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢(腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	1	姿勢における不調の箇所と改善に向けての考察
4 抗重力筋群の活動(運動)向上と感覚の差異について 5 アライメント重心から歩行の問題と解決法を考える 6 猫背をつくる肩・首・背中の萎縮を改善する 7 不良姿勢を改善する(肩からのアプローチ) 8 不良姿勢を改善する(腰椎・骨盤へのアプローチ) 9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢(腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	2	運動療法とトレーニングのやり方とポイント
5 アライメント重心から歩行の問題と解決法を考える 6 猫背をつくる肩・首・背中の萎縮を改善する 7 不良姿勢を改善する(肩からのアプローチ) 8 不良姿勢を改善する(腰椎・骨盤へのアプローチ) 9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢(腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	3	不定愁訴と猫背姿勢の共通点と、背中・肩の歪みについて
6 猫背をつくる肩・首・背中の萎縮を改善する 7 不良姿勢を改善する(肩からのアプローチ) 8 不良姿勢を改善する(腰椎・骨盤へのアプローチ) 9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢(腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	4	抗重力筋群の活動(運動)向上と感覚の差異について
7 不良姿勢を改善する (肩からのアプローチ) 8 不良姿勢を改善する (腰椎・骨盤へのアプローチ) 9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢 (腰・股関節) の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	5	アライメント重心から歩行の問題と解決法を考える
8 不良姿勢を改善する (腰椎・骨盤へのアプローチ) 9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢 (腰・股関節) の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	6	猫背をつくる肩・首・背中の萎縮を改善する
9 アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係 10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢(腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	7	不良姿勢を改善する(肩からのアプローチ)
10 ストレッチ動作や筋カトレーニングによる身体機能の改善 11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢 (腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	8	不良姿勢を改善する(腰椎・骨盤へのアプローチ)
11 神経の働きとコンディショニング要素を考える 12 下肢 (腰・股関節) の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	9	アライメントから考える神経のはたらきと筋の関係
12 下肢(腰・股関節)の改善アプローチ 13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	10	ストレッチ動作や筋力トレーニングによる身体機能の改善
13 身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える 14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	11	神経の働きとコンディショニング要素を考える
14 関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する 15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	12	下肢(腰・股関節)の改善アプローチ
15 骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察	13	身体の「ゆるみ」を意識して姿勢改善を考える
	14	関節の可動性を理解し、ハリこりを解消する
16 期末試験	15	骨格・骨格筋のはたらきのまとめ、運動作用の考察
	16	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	会π	2年度			ポーツ専	門学校		
		10				, ,		1	整体セラピスト学科 				
授業科目名		术:	ディク	ア実	省4	担当	者名	西	津 瞳、	蓑田	のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次	2年	次				
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
— H.W				'	スペーリリス		32						
授業概要	日頃の生	活習慣に	こよっては	おこる身	ロジー・リンパド 体の歪みが引き起 ロンシュミレーシ	こす様々	な症状を						
成績評価	原則とし	,て、出席	ま状況・抗	受業態度	・小テスト・定期	試験およ	び追・耳	∮試験の 約	吉果で評値	西する			
その他	実務経験	の有無:	有(鍼灸	₯ 整骨	• 整体院勤務)			•					

	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
ĺ	参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	BABジャパン

回数	授 業 計 画
1	小顔矯正 <理論>表情筋と咀嚼筋にてついて、原因・見分ける簡単な方法、<実技>セルフマッサージ・体操、写真の撮り方
2	小顔矯正 <実技>首・側頭部・頬骨・顎関節周囲・下顎周囲・頭部全体の施術・写真撮影、時間計測20分
3	骨盤矯正 <理論>骨盤のが歪みの原因・症状、性差、産後の特徴・悩み・産後骨盤矯正について <実技> 腹臥位:腰・骨盤周囲
4	骨盤矯正 <実技>腹臥位:下肢、側臥位:股関節周囲・腹部周囲、仰臥位:下肢・腸腰筋・骨盤周囲
5	骨盤矯正 〈実技〉時間計測30分
6	小顔矯正・骨盤矯正 <実技>復習・時間計測
7	サロンシュミレーション① 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
8	サロンシュミレーション② 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営を学ぶ
9	サロンシュミレーションのフィードバック
10	リフレクソロジー 〈理論〉歴史・反射区 〈実技〉左足:軽擦法・デザート・足裏
11	リフレクソロジー 〈実技〉左足:趾・デザート、右足も同様に施術
12	リフレクソロジー 〈実技〉時間計測20分
13	リンパドレナージュ <理論>リンパ液・節について、関連する症状 <実技>下肢後面:軽擦法・足裏・ふくらはぎ・下腿前部・大腿後面
14	リンパドレナージュ <実技>下肢前面:軽擦法・大腿前部・下腿前部・趾・足裏、復習
15	リフレクソロジー・リンパドレナージュ <実技>復習・時間計測各20分
16	期末試験

ti D E A	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			九州[医療スポ	ポーツ専	門学校
科目区分					0	令和	2年度	整体セラロ	ピスト学科		
授業科目名		ボ・	ディク	·ア実 [:]	習5	担当	者名	長名	谷川 徹	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3年	F次
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中 世数				1	技未时间 数	32					
授業概要	サロンシ	ュミレー	ーション(こ向けて	得を目的とする 、まずは腹臥位で り方、マナー、心	の手技が 配りなど	いらマスク ごも身に付	マーする けけていぐ	<		
成績評価	出席状汤	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験	の有無	有(鍼釒	灸・整骨	• 整体院勤務)						

ĺ	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
ĺ	参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	施術の心構え:良い施術者になる為、良心的なマナーを守る、公私混同しないなど心構えを確認し理解する
2	施術において注意すべきこと:施術をすると症状もしくは疾患に対して悪影響を及ぼす場合がある禁忌事項を 一覧を確認しながら学ぶ
3	身体の恒常性と体温調節:ホメオスタシスの定義を理解した上で体温調節や異物の排除、創傷の修復など生体機能について学ぶ
4	バランス整体の4つのアプローチ法:骨格筋へのアプローチ、神経系へのアプローチ、内分泌系へのアプロー チのポイントを学ぶ
5	バランス整体: バランス整体とは身体の歪みを自然手技療法によって恒常性を高めることで調節するものをい う、骨格を調整する事にはどんな意味合いなのかを理解する
6	バランス整体の効果:骨格の調整、筋緊張の調整、自律神経系の調整、血流量の増加の4つの効果によって疼痛緩和する効果がもたらされることを学ぶ
7	肩甲骨・三角筋・上肢部へのアプローチを学ぶ 揉捏法を学び、手技を駆使することを知る
8	頸・肩部へのアプローチを学ぶ 硬結や膨隆を感じて狙うポイントを知る
9	軽擦から頚部までを通して覚える:時間計測 1 5 分① 臨床的には時間制限があるから、時間内にできるように実技で覚えていく
10	軽擦から頚部までを通して覚える:時間計測 1 5 分② 臨床的には時間制限があるから、時間内にできるように実技で覚えていく
11	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営のノウハウを学ぶ
12	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営のノウハウを学ぶ
13	姿勢分析・動診からうつ伏せでの整体実技、時間計測 2 0 分① サロンシミュレーションでの経験を通して、スキルアップをめざす
14	姿勢分析・動診からうつ伏せでの整体実技、時間計測20分② サロンシミュレーションでの経験を通して、スキルアップをめざす
15	姿勢分析・動診からうつ伏せでの整体実技、時間計測 2 0 分③ サロンシミュレーションでの経験を通して、スキルアップをめざす
16	期末試験

	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			九州[医療スポ	ポーツ専	門学校
科目区分					0	令和	2年度	整体セラは	ピスト学科		
授業科目名		ボ・	ディク	ア実 [:]	習6	担当	i者名	長名	学川 徹	、蓑田	のり子
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	■次	3全	丰次
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中位奴				ı	汉未时间奴	32					
授業概要	ここではサロンシ	は仰臥位で マミュレー	での施術で	をマスタ を通して	得を目的とする ーする 、集客や店舗運営 むけて腹臥位・仰				スターする	3	
成績評価	出席状況	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験	の有無	有(鍼灸	灸・整骨	• 整体院勤務)						

Ĭ	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
	参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授 業 計 画
1	仰向けでの下肢部へのアプローチ 力の強弱や狙うポイントを学ぶ
2	仰向けでの上肢部へのアプローチ 力の強弱や狙うポイントを学ぶ
3	仰向けでの頚・肩・胸部へのアプローチ カの強弱や狙うポイントを学ぶ
4	実践:サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、合せて店舗運営のノウハウを学ぶ
5	仰向けでの通しの練習① サロンシミュレーションでの経験を通して、スキルアップをめざす
6	仰向けでの通しの練習② サロンシミュレーションでの経験を通して、スキルアップをめざす
7	仰向けでの通しの練習:時間計測10分① 臨床的には時間制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
8	仰向けでの通しの練習:時間計測10分② 臨床的には時間制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
9	仰向けでの通しの練習:時間計測10分③ 臨床的には時間制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
10	うつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測20分① 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
11	うつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測20分② 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
12	うつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測20分③ 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
13	姿勢分析・動診とうつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測30分① 臨床的には時間の制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
14	姿勢分析・動診とうつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測30分② 臨床的には時間の制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
15	姿勢分析・動診とうつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測30分③ 臨床的には時間の制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
16	期末試験

11 E E A	基礎分野		専門基礎分野		専門分野			九州医療スポーツ専門学校			
科目区分					0	令和	2年度	整体セラロ	ピスト学科		
授業科目名	ボディケア実習7					担当者名		長谷川 徹、蓑田 のり子			
授業形態	講義	講義 演習 実技 実習 履修:		履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中 世数							32				
整体セラピストとしての手技の修得を目的とする ここでは側臥位・座位での施術をマスターする サロンシミュレーションを通して、集客や店舗運営の在り方を体験する 次回のサロンシミュレーションにむけてスキルアップ目指す											
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する										
その他	実務経験	の有無	有(鍼灸	灸・整骨	• 整体院勤務)						

ĺ	使用教材	書籍名	著 者 名	出版社名
	教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
ĺ	参考図書	経絡指圧 基本 全身指圧テキスト	藤崎 信行	経絡指圧普及会

回数	授業計画
1	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
2	横向きでの頚・背・腰・臀部へのアプローチ① 妊婦さんなどの対応としての施術に気づく
3	座位での頚・肩・背部へのアプローチ①待っている人へのサービスとして又は車椅子の人へのアプローチとして学ぶ、経絡施術を応用する
4	座位での頚・肩・背部へのアプローチ②待っている人へのサービスとして又は車椅子の人へのアプローチとして学ぶ、経絡施術を応用する
5	うつ伏せ・仰向けでの臨床的手技を学ぶ① 基本をマスターしたうえで、実際の臨床現場の手技を覚える
6	うつ伏せ・仰向けでの臨床的手技を学ぶ② 基本をマスターしたうえで、実際の臨床現場の手技を覚える
7	うつ伏せ・仰向けでのストレッチ法を導入する 基本をマスターしたうえで、実際の臨床現場の手技を覚える
8	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
9	うつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測15分① 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
10	うつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測15分② 一連の流れとしてスムーズにできるように実技で覚えていく
11	姿勢分析・動診とうつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測25分 臨床的には時間の制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
12	姿勢分析・動診とうつ伏せ・仰向けの施術を通しで施術する:時間計測25分 臨床的には時間の制限があることから、時間内に施術ができるように覚えていく
13	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
14	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
15	実践: サロンシミュレーション 練習の成果を一般の方に施し、併せて店舗運営のノウハウも学ぶ
16	期末試験